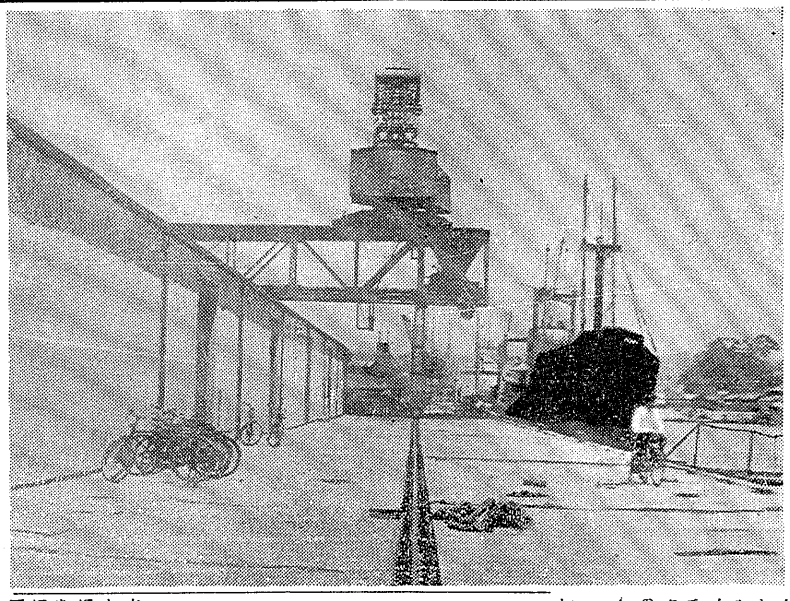
常磐毎日
発行所 平市田町75
常磐毎日新聞社
営業部専用 1210
編集部専用 1269
本社 平市二の三九（本町通り）
カノウダ 十曜産婦人科 天主堂前
（駅前通り）電話（午前）三五五
（午後）四〇一
分院 湯本駅前

国際港へ新たな威力
上屋・クレーン完成
小名浜港 あす盛大な落成式挙行



小名浜国際港一万トン岸壁に県が建設中だった上屋と六トンの移動式大型クレーンは五月一杯で完成し六月一日から荷役をはじめている

小名浜国際港一万トン岸壁に県が建設中だった上屋と六トンの移動式大型クレーンは五月一杯で完成し六月一日から荷役をはじめている。県では七日午後二時から関係者を招き同岸壁で盛大な完成祝賀式を行う。

同港は昨年の開港以来、外国との貿易が急激に増加し、とくに今年度から野積みできない鉄鉱石が新しく輸入品目に加わったのと上屋増設の輸入増大などで岸壁にせまれる十一月から工事に着手したもので、工事は平市の加地和組が七千万円で請負い、五月一杯で全工事を完成した。

上屋は荷役を鉄筋コンクリートでかため、建物の長さ百五十メートル、巾が二十五メートル、高さ四メートルの二階造り鉄骨補強アーチ型上屋である。とくに屋根には、タテ六メートル、ヨコ五メートルの天窓十カ所を設け、ここから六

（写真は完成した上屋と新しいクレーン）

利用更に増大

上屋完成によって外国貿易の増大を図るはかりでなく、これまで上屋設備がないために同港の利用を渋っていた郡山市の保土谷各化学が利用することになっているほか新潟地区からも名振港利用工場が増えるものとみられ、同港の発展は上屋完成によって、さらに有望視されてきた。

常磐線に特急列車
二十四日ころに試運転

特急の東北急行が常磐線経由に本決りになり、秋のダイヤ改正から運転することになった。このため国鉄では二十四日から試運転を行う。上野、常磐間に特急を運転する計画をたった国鉄では十九日上野、盛岡間二十五日盛岡、青森間、二十六日青森、仙台間、二十七日仙台、上野間の試運転を行なう。試運転によると同じ編成で行う。機関車は後部時すきにつく一往復が有力である。

特急は東北線急行と同じ編成で上野発で青森に午前零時すぎに着く予定。

川魚も干し上る
夏井川漁協で頭痛八巻

二カ月にわたる日照り続きで水足はいよいよ深刻化してきた。このため好間、平、常磐などでは飲料水の時間給水、なかでも大きな水不足に悩み付け期に入った水稲が最も多く、河川を利用している有機、また平市を横断している夏井川の水量も減少に減少しているため魚の放流ができるとのままの状態が続けば七月一日のアユ解禁もできないと夏井川漁業協同組合ではその対策に頭を悩ましている。

同組合でせアユ、ボラなどの主要魚介類とここの他と磐谷悪に工費・五百万円で長さ十七・三メートル、巾四二メートルの公道二件の火事があり、住家、おもやを殿堂したが、日照り続きのため昨夜からひき続いにかけ磐城市

（写真は完成した上屋と新しいクレーン）

住家一棟を焼く
常磐市で火事二件
一件は放火の疑い

五日午後十一時十分ごろ磐城市西郷字柳町鍛冶屋敷、信夫さん(五〇)方火事場から出火、同市消防団、内郷市消防団などが消火機にあたったが、空気がかわいていたのと、水の便が悪かったため火のまわりが早く、同家一棟五十四坪を焼いて十一時二十分ごろ鎮火した。

原因は、カマドの不始末とみられるが損害は磐城署で調べ中。

また今朝二時ごろ磐城市から約五百メートル離れた同市金山畑江出酒蔵さん方から出火、発見が早かったため同おもやの一部を焼いただけで二時二十分ごろ鎮火した。原因、損害は磐城署で調べているが江出さんの家では全然火の気がないところから放火ではないかとみられる。

生家一棟を焼く
常磐市で火事二件
一件は放火の疑い

五日午後十一時十分ごろ磐城市西郷字柳町鍛冶屋敷、信夫さん(五〇)方火事場から出火、同市消防団、内郷市消防団などが消火機にあたったが、空気がかわいていたのと、水の便が悪かったため火のまわりが早く、同家一棟五十四坪を焼いて十一時二十分ごろ鎮火した。

原因は、カマドの不始末とみられるが損害は磐城署で調べ中。

また今朝二時ごろ磐城市から約五百メートル離れた同市金山畑江出酒蔵さん方から出火、発見が早かったため同おもやの一部を焼いただけで二時二十分ごろ鎮火した。原因、損害は磐城署で調べているが江出さんの家では全然火の気がないところから放火ではないかとみられる。

日本百万本枯る
降らねば殘りも全滅
農政課長会 農政干魃対策会議は十日午後一時から石城郡事務所会議室で開き、三十三年度農政の推進と三十三年度農政の増産、病害虫対策などについて協議する。

日照り続きで土地が底割したため平市平鎮などと民間篤志のアカマツ、スギの苗木約百万本が枯死し、このままだと全面的に赤枯れ、立枯れ病が発生の恐れもあり全滅の危機に立たされている。

六日平林務所在員事務室が調べたところによると民間の苗圃、とくに平市平鎮、神谷をはじめ好間村など散水設備をもたない個人苗床に育苗中の二年生アカマツ四八十万本のうち二〇%にあたる四十万本が枯死した損害額は約百万円にのぼるものとみられている。

関係者は防止策に乗り出したが散水設備がないため植栽を待つ以外に方法はないと渋渓化した苗床をみて最大急で、この春の日照りが続くとアカマツには赤枯れ病、またスギ苗には立枯れ病が発生することになるので全滅の危機に追い込まれている。

歩くなつた犯
成果あがる田町防犯区

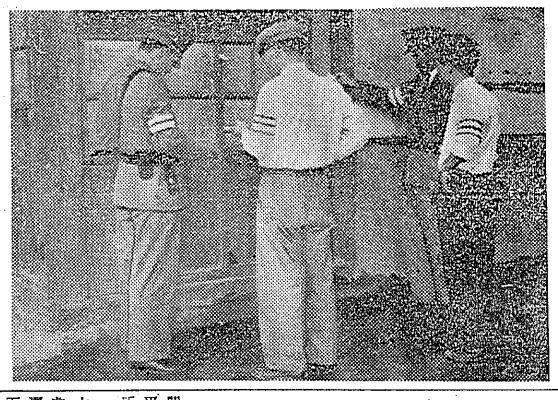
平市田町防犯モデル地区（区長 ○○○○氏）では初夏の犯罪防止に備えるため、区内の防犯員六人が警察官の協力を得て区内二百三十戸の防犯診断を行っているが、その成績がよく、悪かんが少くなったと評判を得ている。

六月から九月にかけては夜の盗難が多く発生するため、田町防犯区では平署の協力を得て二班に分れ夜の十時から十二時まで区内の巡回をして声掛け、火の元、物件放置など見て歩き、不安な家庭には赤色の防犯診断カードにとどめをさして注意している。

これにより、名前はともかくとんだよくなつてきたので田町防犯区ではこれからも月二回から五回防犯診断をつづけるので、平市

幕開く美の祭典
おとう里々を入場式

初夏のひざしが照りつけた若人の祭典を祝福するかのように……。朝七時十一分、開会入たちによる力強いスポーツ競技がくりひろげられるのである。六百九十四名の選手団の入場式が観衆がかたずをんで待つうちに定刻午後二時半、県民会館の



の中心地田町も「だんだん明るい街になるだろう」とみられている。（写真は田町の防犯診断）

火が初夏のさわやかな空気をふるわせて爆発する。参加七十一校、総勢九十四名の選手団の入場式がはじまった。ここに先ず国旗下高校の掲揚台に国旗を

先頭に国体準備委、平市長、県陸上競技協会員長、競技役員、地区名プラカード、校名旗、地区陸上競技協会員長、選手団が入場を開始、力強い足取りで厳然と場内を一周、所定の位置に着き、四十五分全選手団の整列が終った。長谷川平市教育委員の会の音頭で式が開始され、ブラスバンド吹奏による君が代につれて国旗掲揚、続いてコーラス隊の合唱「若い力」で国体準備平市旗が掲揚された。真剣の三本のボールは中央に国旗、右が平市旗、左が国体準備旗だ。ついで鈴木国体準備委員長、佐藤教育

つゆ時に幅をきかす缶詰君
藤越

最近缶詰類の腐敗注目を見張るものがありますが、食品の保存に苦労する梅雨期、田植時には一そう缶詰の有難さがわかるようです。

○さけ缶 三ケ 一〇〇円
○いわし〃 四ケ 一〇〇円
○コンビーフ（大缶） 一〇〇円
○土産特売 缶入ジュース、かに缶

藤越 小名浜 平市

東京だより

水無月を迎えて、東京は早くも水道ギキンに見舞われている。何処の家庭もバケツをぶらさげ水道に行列を生じている。その原因として、東京都は将来の大首都圏の構想のために、小河内に東洋に誇る大貯水池を建設したが、まだ引水工事が完成していないこと及び水道管がその昔のまま細いものを使用していることなどのほか、今年は五十年来の水不足とあって、特に山の手方面は水不足を訴えている。正にほんとうの水無月というわけである。

これから好天気に向うのに水不足となっては生活上にも大変な事を招くが、これのみは応急手段もない。いつもの通り配水管の破損で漏水する計画を発表したとはあるまいが、東京にはなんでも投書になると考えている人々に一寸驚かさせるニュースである。一体に役人はその場のみの仕事をする。おの仏りさんが繁くのは「東京に水がない」のほか、立派な家庭にも道路は掘り返えされ、電車道は田ぼの中を走っているような状態であり、雨とよなればドロンコ風ともなれば、ほこりだらけの街となる。どうしてこんなに年柄年中道路を掘ったり、埋めたりするのであろうか。

〝水無月〟のこと
城山山人

昔の防空演習にも似たこの時ならぬ風景は、一に東京都の人口増加によって水の使用が急激に殖えて来たことに原因しているでも各家庭へ巡回せしむるほか東京都の将来の大首都圏の構想のために、小河内に東洋に誇る大貯水池を建設したが、まだに一寸驚かさせるニュースである。一体に役人はその場のみの仕事をする。おの仏りさんが繁くのは「東京に水がない」のほか、今年は五十年来の水不足みではない。上京する度毎に道路は掘り返えされ、電車道は田ぼの中を走っているような状態であり、雨とよなればドロンコ風ともなれば、ほこりだらけの街となる。どうしてこんなに年柄年中道路を掘ったり、埋めたりするのであろうか。

〝水無月〟のこと
城山山人

東京も年々百万人からの人口を大抵えする計画を発表したとがふくれ上っている。このようとがある。

な急ピッチの増加に対する対策後藤さんの大風呂敷が始まったと反対した。しかも地元の商店では、自分の家から表の店の人の商が見えなくなるような立派なにされては、人が減れて困る方がない。掃除にも大変だと反対する人の考えが誤っている。将来を考えて道巾をひろく、水道は大きく、住宅地にはその特殊な社の施設をし、とくに平市平鎮、神谷をはじめ好間村など散水設備をもたない個人苗床に育苗中の二年生アカマツ四八十万本のうち二〇%にあたる四十万本が枯死した損害額は約百万円にのぼるものとみられている。

関係者は防止策に乗り出したが散水設備がないため植栽を待つ以外に方法はないと渋渓化した苗床をみて最大急で、この春の日照りが続くとアカマツには赤枯れ病、またスギ苗には立枯れ病が発生することになるので全滅の危機に追い込まれている。

歩くなつた犯
成果あがる田町防犯区

平市田町防犯モデル地区（区長 ○○○○氏）では初夏の犯罪防止に備えるため、区内の防犯員六人が警察官の協力を得て区内二百三十戸の防犯診断を行っているが、その成績がよく、悪かんが少くなったと評判を得ている。

六月から九月にかけては夜の盗難が多く発生するため、田町防犯区では平署の協力を得て二班に分れ夜の十時から十二時まで区内の巡回をして声掛け、火の元、物件放置など見て歩き、不安な家庭には赤色の防犯診断カードにとどめをさして注意している。

これにより、名前はともかくとんだよくなつてきたので田町防犯区ではこれからも月二回から五回防犯診断をつづけるので、平市

幕開く美の祭典
おとう里々を入場式

初夏のひざしが照りつけた若人の祭典を祝福するかのように……。朝七時十一分、開会入たちによる力強いスポーツ競技がくりひろげられるのである。六百九十四名の選手団の入場式が観衆がかたずをんで待つうちに定刻午後二時半、県民会館の

の中心地田町も「だんだん明るい街になるだろう」とみられている。（写真は田町の防犯診断）

火が初夏のさわやかな空気をふるわせて爆発する。参加七十一校、総勢九十四名の選手団の入場式がはじまった。ここに先ず国旗下高校の掲揚台に国旗を

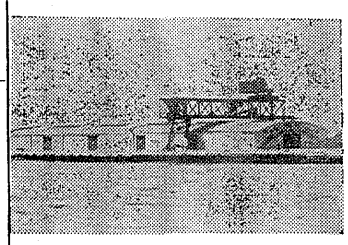
先頭に国体準備委、平市長、県陸上競技協会員長、競技役員、地区名プラカード、校名旗、地区陸上競技協会員長、選手団が入場を開始、力強い足取りで厳然と場内を一周、所定の位置に着き、四十五分全選手団の整列が終った。長谷川平市教育委員の会の音頭で式が開始され、ブラスバンド吹奏による君が代につれて国旗掲揚、続いてコーラス隊の合唱「若い力」で国体準備平市旗が掲揚された。真剣の三本のボールは中央に国旗、右が平市旗、左が国体準備旗だ。ついで鈴木国体準備委員長、佐藤教育

つゆ時に幅をきかす缶詰君
藤越

最近缶詰類の腐敗注目を見張るものがありますが、食品の保存に苦労する梅雨期、田植時には一そう缶詰の有難さがわかるようです。

○さけ缶 三ケ 一〇〇円
○いわし〃 四ケ 一〇〇円
○コンビーフ（大缶） 一〇〇円
○土産特売 缶入ジュース、かに缶

藤越 小名浜 平市

小名浜底曳網漁業協同組合 組合長 田中常太郎
小名浜臨港鉄道株式会社 社長 浦田文二郎
小名浜金融団
東北海運局 小名浜支局 支局長 笹俊夫
磐城通運株式会社 社長 斎藤昌平 小名浜支店長 小林重三
祝 小名浜港一万トン埠頭上屋新築落成
施工 株式会社 加地和組 取締役社長 川和徳一
鉄骨 株式会社平工製作所 平市極本町二
塗装 橋梁塗装株式会社 東京都千代田区丸ノ内二ノ二
大工 丸山房太郎 平市鷹匠町八
左官 高橋利左エ門 平市南町四九
木材 芹沢材木店 平市三丁目三七
硝子 野崎商店 代表 野崎智三郎 福島市本町五〇
屋根 三晃金属工業株式会社 仙台営業所 仙台市南町通り七
電気 福島電気株式会社 福島市万世町四
シャッター 株式会社手島製作所 東京都江東区亀戸町九ノ二七〇
給排水衛生 富士工業株式会社 磐城市竹町三

小名浜港務所 所長 佐々木省吾
磐城市役所 市長 三代義勝
福島県会議員 小野義一
運輸省小名浜港工事事務所 所長 武秀雄
小名浜海上保安部 部長 吉田武

高まる選挙ねつ

川部の再選挙　七日から立会演説

勿来市議選川部地区の再選挙は十一日、川部公民館、沼部簡裁判所、山玉宿年会館の三投票所で午前七時より午後六時まで行われ即日川部公民館で開票されるが、農繁期に入っているため、投票率の低下が心配されていたが、選挙熱は最高潮に達し、この分だと百％の好投票率を示すのではないかと関係者をホクホクさせている。今回の有権者総数は二、八〇〇票で四つの開票を六候補がどのように票分けするか、前議員三、新候補三名の大者が出馬しており、各候補の浮沈は真剣そのものである。なお立会演説会は七日ごろより行われる模様で演説の時間は一人三〇分内宮間は十五分となるむきが強い。

開発青年隊結成

関柴ダムで技術訓練

福島県開発青年隊は九日勿来市に新発足するが、八所式は同日植田町後宿国隊のキャンプで開かれる。この日は開発青年隊（隊長大和田氏）をはじめ県庁より関係者多数を招待して行われることになった。

この開発青年隊は県の計画課が主体となり、農家の二、三男坊で職に就けない人を募集して、特に土木の技術を実習し、訓練するもので、勿来市の関柴ダム工事に、実習生二十五名を派遣するもので、夜は専門的な知識を得るため同キャンプにおいて学科を習い、昼は土工となって技術を身につけるもの。なおこの隊は昭和三十年頃より発足しているが、県内の開発地帯をめぐり歩いているので同隊を卒業すれば土木関係の官庁、大会社に就職あっせんもしているが現在までの就職は百％以上ついているという。

上ノ山団体行募集　常磐交通観光社では十四、五両日の山形県上の山温泉一泊二日旅行団を募集している。四十人で一人当り二千五百円の会費。

PTAが汗の奉仕

四倉小学校

四倉小学校PTA施設部（部長新谷光雄氏）では部員二十六名が庭掃、スコップなど持参して同校の校庭の悪い所を土盛りして整地作業に大汗である。

○…日曜日は晴天に恵まれ、真夏を思わせる暑さに父兄たちは汗ダラ姿をかなり〝子供たちのために〟と校庭の隅から隅まで地均にスコップを上手に動かしていた。

○…同校の校庭は昨年十一月ころから同校の増改築工事のため材木が校庭一杯に置かれ、このため児童らは昼き遊動も出来なかったがこのほど校庭内の材木が運び出されたため、父兄らが二日間で校庭をきれいにして子供たちにきまでの分まで遊動をしてもらおうと整地作業にかたったもの。

復旧工事など検査

会計検査院調査局林検査第三課関係石城地区の現地検査は十日から行われる。

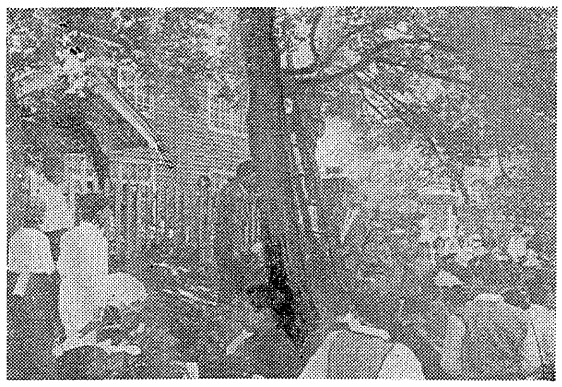
係員は九日に来庁して十日は遊園町、常磐市の災害復旧工事現場を見て十一日は平市をはじめ好間村、川前村地区、十二日は四倉、十一日には平市十日には江名、勿来、十一日には平市社長木炭製造民）の貿上げを決定した炭鉱炭鉱製造二十二人、年産六千九百トン。これで東部各内の貿上げは二十炭鉱、年産十七万二千トン、従業員二千人に達し、申込み二十万トンの六十六炭鉱が決まったことになり現在申込み中の八炭鉱のうち今月一杯で二炭鉱も決まる予定である。

新川部買上決る

不振炭鉱の貿上げ整理を行っている石炭鉱業調整協議会（会長東京都市の富士興産経営の新川部炭鉱（支部長清宮一郎氏）は四日、勿来

盛大に別れの式

姿消す〝すずかけの木〟



このすずかけの木は同校の開校を記念して当時の六年生が植えたもので、学校の発展とともに成長してきた。また開校生徒にとっては忘れられない思い出の木であり、同校ではすずかけ児童会、すずかけ図書部、すずかけ文集、すずかけ放送局などと学校のシンボルとして来たが、一昨年からアメリカンシロヒトリの被害を受け、児童たちの熱望から一年延期してみたがますますふえ続けるためついに切り倒すことになった。すずかけの木は樹齢二十八年、高さ十五米、幹の周囲六十センチと云う大きなものだけに消毒の方法もなく切り倒す結果となり、高松校長始め二千五百十七名の全児童と別れをおしみながら校長の手で切り取られ〝蛍の光〟を唄う児童らの目に涙さえ流れていた。

また、児童会長の鈴木通弘君（六年生）の〝お礼状に添えて〟の〝私達に勇気と希望を与えてくれたすずかけの木よようなら〟と刻れた記念の盾を送り贈呈することとなった。

（写真は伐採を待つすずかけの木）

平市職組で手当要求

平市職員組合（組合長鈴木源氏）では五日午後臨時市長に対し①賃金当一カ月支給②通勤手当は国家公務員に準じて支給③超過勤務は実状により制約することなく命令する者の三項目を要求した

春マユ13日初出荷

トップは平の鎌田さん

平市平窪の鎌田勝平さんの春マユは県下のトップを切って、きのうから上ぞくをはじめ、十三日には初出荷することになった。

ことしの蚕況は蚕の成育期に一部山間地帯が霜害で一部の減収をうけたほかは蚕も順調な成育をみせとくに蔬菜期には恵まれた天候のため鎌田さんの上ぞくは例年と比べ一日早く、県下でも一番早い初出荷は十三日頃を予定されており、石城地区全般の上ぞくが終るのは六月末、七月上旬には全部出荷することになる。

石城蚕業指導所の話によると、昨年は霜害で桑に大きな被害をうけたため蚕況が悪く、管内一千六百蚕マユを出荷した程度だったが、ことしは春マユ目標二万貫は突破できそうだと、蚕業関係者と打診している。

社長には佐藤氏

平木材市場の役員決る

平木材市場の創立総会は五日午後五時から平市旧城跡平安倶楽部で開き、定款の設定と取締役、監査役および相談役などを決めた

▽取締役…（社長）佐藤積太郎（専務）吉田正、猪口貞一、山野辺鶴、猪口貞雄、芦沢政喜、馬目武男、志賀季三郎、色川清、石川義次郎、佐藤国一、中野善須美

▽監査役…鬼山進三、物部河原

▽相談役…諸橋平市長、大泉平職長、山崎平商工課長、小堀平労林課長、大谷炭次郎、猪狩四郎、田子辰雄

質

世界館前　戸沢

商工ニュース

石城保育協議会（会長沼田一夫氏）は七日午後一時から平市公会堂で本間で開き、三十二年度公務、会計、事業の経過報告のほか三十三年度事業計画と予算審議、役員改選を行う。

▼磐城市商工課長、小堀平労林課長、猪狩四郎、田子辰雄

▼郷町大島門馬自転車店で完全なアフターサービスを実施するため、福田町本町（古川酒店前）に支店を設け十五日開店する。

▼福田町鎌田醤油店は醤油仕込み中だが、醤油は行っている。なお完成は八日の予定。

▼福田町鎌田醤油店は醤油仕込み中だが、醤油は行っている。なお完成は八日の予定。

▼福田町鎌田醤油店は醤油仕込み中だが、醤油は行っている。なお完成は八日の予定。

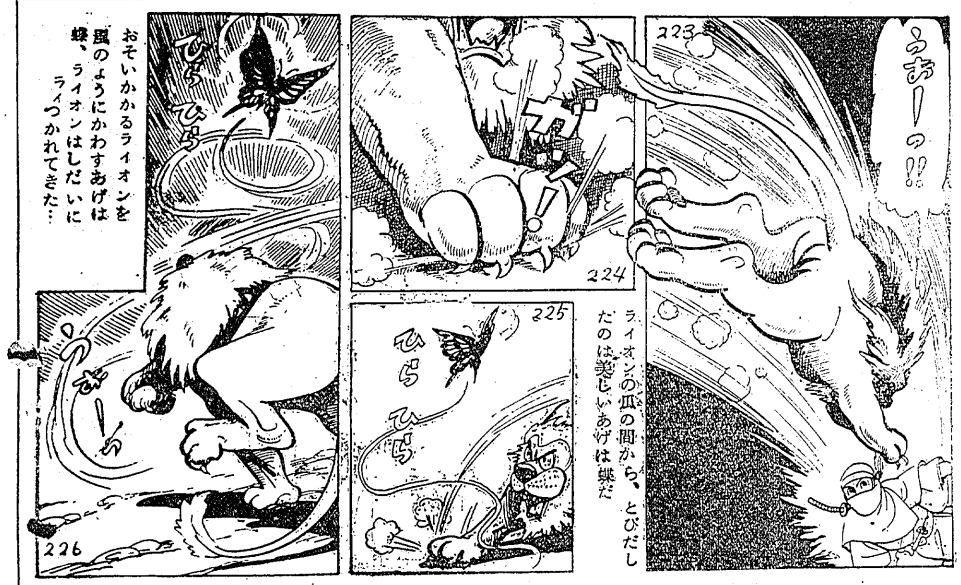
推進委員会を設置

メートル法の完全実施

メートル法完全実施を前にして、平市では「メートル法実行推進委員会」を設置して強力な指導をすることになった。同委員会は地域別、職別、各種団体、婦人会などの代表者で構成、十月一日から発足することになっている。事務局は平市役所商工課内に置き事業は①日常生活取引および証明におけるメートル法使用の徹底②メートル法による計量器の普及徹底③工場、事務場のメートル法使用の徹底「野盆踊の中の走る」

磐城で新制作座の公演

磐城市労協では二十一日のヒルとヨルの二回、市内高山の日本水泳競技で新制作座の公演を行う。出し物は乱世の無名の英雄を描いた



時代絵物語

阿蘇の小源太

南村喬　(43)

青春の悩みが哀歓が抵抗があらゆる人の共感をよぶ問題作

総天然色

ラナ・ターナー
リー・フィリップス
ホープ・ラング
ロイド・ノーラン

CINEMASCOPE 20 CENTURY-FOX
COLOR by DE LUXE

7日より

月春物語

旅愁の灯またたく花火の夜恋の賭けごと彩の夢
ハテサテ酒落れたロマンチツクコメディ

モンテカルロ物語

ヴイットリオ・デシーカ
マレーネ・ディトリツヒ
テクニラマ　総天然色

聚楽館

ニキビにすばらしき！
ホノカケークリーム出現!!!
あこう
平市銀座通り　電44

よい歯でよくかみましょう
口腔衛生週間
4日―10日
勿来歯科医師団

陽日輝く初夏の下
ポロシャツ御案内
営業時間延長（后）八時まで

新感覚のメルシー印（ボートネツク）　210円
東レナイロンメルシー印　700円
新柄ツバメ印　530円
白無地新型　270円
新型タオル地　680円

衣料品のデパート
TEL1654　鈴藤

ジューキミシン
世界に誇る回転天秤
平市五丁目
電1098

カメラとシネ
富士商会
TEL. 2144

製造・修理・販売・卸
資合会社　石城計量社
平市銀冶町二二番地　電話1468番

計量を正しく
株式会社　神谷薬局
平市田町　電32

売る方も買う方も
メートル法で

計量を正しく
坂本紙店
平市一丁目　電一八

ものさし・ます・はかり
温度計・寒暖計・体温計
西村屋薬局
平市二丁目　電三番

みんなニコニコ
グラムで取引
サカイ食品店
平市一丁目　電一三三六番

モロハシ理化器械店
平市田町光来通り　電一七六九番

6月7日計量記念日

キャバレー
ラシオ
東邦銀行前　TEL2214